

JAバンク岡山の 地域密着型金融の取組状況 (2018年度)

2019年7月

農林中央金庫 岡山支店

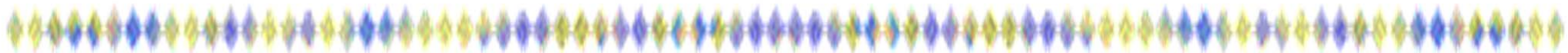


JAバンク岡山*では、農業と地域社会に貢献するため、
2019～2021年度 J Aバンク岡山中期戦略に基づき、
地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

このたび2018年度の地域密着型金融取組状況について
取りまとめましたので、報告いたします。

* JAバンク岡山… J A・農林中央金庫岡山支店

目次



- I 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援 …… P. 4
- II 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援 …… P. 10
- III 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底 …… P. 11
- IV 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献 …… P. 12

I 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援 (地域農業者との結び付き強化、地域活性化への取組み)

(1) 農業融資商品の適切な提供



- JAバンク岡山は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 2019年3月末時点のJAバンク岡山の農業関係資金残高（注1）は111億円、日本政策金融公庫の受託貸付金残高（注2）は109億円となっています。

(注)

- 1 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します
- 2 JAバンク岡山が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫の貸付金の受託取扱いを行っています

農業融資残高(営農類型別)

【営農類型別農業資金残高】

単位：百万円

営農類型	2019年3月末
農業	10,318
うち耕作	3,613
うち野菜・園芸	987
うち果樹・樹園農業	515
うち工芸作物	10
うち養豚・肉牛・酪農	1,408
うち養鶏・鶏卵	105
うち養蚕	0
うちその他農業（注1）	3,676
農業関連団体等（注2）	839
合計（注3）	11,158

（注）

1 「その他農業」には、複合経営で業種が明確に位置づけられない者および農業サービス業が含まれています

2 「農業関連団体等」にはJA等が含まれています

3 単位未満四捨五入のため合計と一致しません

農業融資残高(資金種類別)

【資金種類別農業資金残高】

単位：百万円

種類	2019年3月末
プロパー農業資金(注1)	4,451
農業制度資金(注2)	6,707
うち農業近代化資金	1,579
うちその他制度資金(注3)	5,128
合計	11,158

(注)

- 1 「プロパー農業資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているものをいいます
- 2 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金を融資するもの、②地方公共団体が利子補給などを行うことで低利で融資するものを対象としています
- 3 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)などが該当します

【農業資金の受託貸付金残高】

単位：百万円

種類	2019年3月末
日本政策金融公庫資金	10,937
その他	0
合計	10,937

(注)

JAバンク岡山では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています

I 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

(地域農業者との結び付き強化、地域活性化への取組み)

(2) 担い手のニーズに応えるための取組み



- JAバンク岡山では、地域の農業者との関係を強化・深耕するための体制整備に取り組んでいます。
- JAでは、本支店の農業融資担当者が、農業融資に関する相談対応を実施しています。また、県内全てのJAに合計54名の「担い手金融リーダー」を設置し、本支店の活動をサポートしています。
- 農林中央金庫 岡山支店では、「県域農業金融センター機能」として、農業法人等への融資相談機能のほか、JAの農業融資機能強化に向けた取組みを様々なかたちでサポートしています。

I 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

(地域農業者との結び付き強化、地域活性化への取組み)

(3) 農業法人等とのコミュニケーション強化の取組み



- 農林中央金庫 岡山支店は、J Aバンク岡山を代表し、岡山県農業経営者協会への加盟を契機に、地域農業の有力な担い手である農業法人等の経営者の皆さまと活発に交流を深めています。
- 農業法人等の経営者の皆さまからは、資金のご相談に限らず、J Aバンク岡山が今後果たしていくべき役割等についても貴重なご意見をいただき、J Aバンク岡山の業務運営に活かしています。

I 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

(地域農業者との結び付き強化、地域活性化への取組み)

(4) 担い手の満足度向上に向けた取組み



- 農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、農業者向けに農業金融にかかるアンケート調査を実施しております。
- 結果を活用しながら、農業者の声により応えることができるよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいきます。

Ⅱ 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

(担い手のサポートに向けたライフステージに応じた取組み)

【次世代農業者の育成支援】

- JAバンク岡山では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取り扱っています。

【2018年度 新規就農者をサポートする資金の実績】

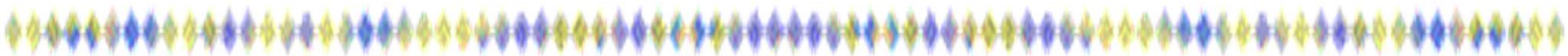
単位：百万円

	実行件数	実行金額	2019年3月末 残高
青年等就農資金	35	138	309
就農支援資金	0	0	141
合計	35	138	450

- 2010年度から、JAバンクアグリサポート事業の一環として、新規就農支援事業を創設し、新規就農希望者（研修生）の育成を行う農家等に対して費用助成を実施しています。また、2015年度からは、研修生を受け入れる農家に対しても、受入費用の助成を実施しています。（※当事業は2018年度事業にて終了）

Ⅲ 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底（経営実態やニーズに適した取組み）

【負債整理資金による経営支援】



- JAバンク岡山では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【2018年度 負債整理資金実績】

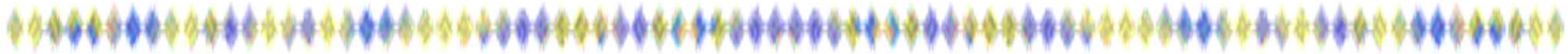
単位:百万円

	2019年3月末残高
畜産特別資金	11
その他	59
合計	70

（注）畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金です

IV 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村 等地域育成への貢献（地域社会へ貢献するための取組み）

【食・農への理解促進】



- JAバンク岡山では、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、農業に関する教材の配布や農業体験学習の受入れなどに取り組んでいます。
- 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAを通じて2018年度には県下の小学校へ、約2万冊を寄贈し、学校の授業等において活用されています。
- 県内各地のJAでは、食農教育などの実践活動が取り組まれており、これらの取組みに対して、JAバンクアグリ・エコサポート基金から費用助成を行ってサポートしています。